

歴史・文化景観

【本市の代表的な歴史・文化景観】

特 性

- 国指定史跡唐沢山城跡や佐野城（春日岡城）跡などが公園として整備され、地域のシンボル的な景観となっています。
- 中心市街地は、江戸時代の初期に碁盤の目状に整えられ、歴史ある建物や社寺・仏閣が分布しています。
- 日光例幣使街道沿いには宿場町としての昔の面影をとどめる建物が残っています。

検討課題

- 歴史的な建物が維持管理されず空家になったり、現代的な建物に建て替えられたりされ、歴史風情あるまちなみが消えつつあります。
- 例幣使街道は沿線のまちと連携し、広域的な景観形成が望されます。

主な景観資源



国指定史跡・唐沢山城跡

藤原秀郷の子孫と言われる佐野氏が築城した山城で、戦国時代末期の堅牢な高石垣が残る東日本では数少ない城であり、平成26年には、国の史跡に指定されました



佐野城跡

別名春日岡城とも言われ、藤原藤成がここに館を設け、春日明神を祀ったと伝えられています。1602年、唐沢山城主佐野信吉は、幕府の山城禁止の命を受けて、唐沢山城からこの地に移ったと言われています



春日岡山惣宗寺

徳川家康の棺を日光に遷送する途中、一夜安置した縁により、三十三世の義明の尽力により建立されました。「佐野厄よけ大師」として親しまれ、毎年関東菊花競技大会が開催されています



日光例幣使街道沿いの家並み

かつての日光例幣使街道だった本町通りには現在も見世蔵造りの建物が点在し、当時の雰囲気を今に伝えています



江戸街道の家並み

日光例幣使街道と交差する江戸街道沿いには、旧糸問屋「寺岡邸」をはじめ、洋館「小島邸」、店だな形式の「太田邸」等があります。また、見世蔵造りの店舗も軒を連ねています



殿町通りの家並み

明治以降民家や商家の建築に用いられた、出桁造りの商家があります。梁を出した出桁で軒の垂木を支える構造で、軒の立派さが商店の格を示しています

【 地域の身近な歴史・文化景観 】

特 性

- 市街地を中心に歴史ある社寺・仏閣が多く分布しています。
- 市内には、令和3年6月24日現在で、国・県・市指定文化財が247件、国登録文化財が21件あり、歴史・文化的価値のある文化財が数多く分布しています。
- 地域の成り立ちを今に伝える産業遺産ともいえる景観資源があります。

検討課題

- 歴史的価値がある建物や樹木でも維持管理が困難となっています。

主な景観資源



田中正造旧宅

足尾鉱毒問題の解決に尽力した田中正造の生家は小中町にあります。維持管理は「小中農教俱楽部」が行っており、一般公開されています



椿田城跡

唐沢山城の支城として建てられました。この地域は上野、下野の境界で、館林や河(川)越に対する押さえの目的で築かれたと言われています



三好小学校旧校舎

明治時代に建てられた現存する唯一の学校建築で、市指定有形文化財に指定されています



司馬遼太郎文学碑

太平洋戦争末期、戦車隊が本市の国民学校に駐屯しました。その中の一人が福田少尉（後の司馬遼太郎）で、死と向き合いながら、この地で終戦を迎えました



須花坂トンネル

明治・大正・昭和の各時代に造られた3つのトンネルが現存する須花坂峠。明治トンネルは、田島茂平らが約8年の歳月と私財を投じ、明治22年に手堀りで完成させました



井伊直弼宿泊の家

井伊直弼が下彦間地区を巡見する際に宿泊した家。勧農政策の推進の一環でレンゲソウの植栽を奨励したため、この地域ではレンゲソウを井伊の官位名「掃部頭（カモンノカミ）」に因み、カモンバナと呼んでいます



鋳物工場跡

古来より鋳物の町として全国に名を知られ、西の芦屋、東の天明と茶人に愛好されました。写真は明治時代に建てられたレンガ造りのキュー・ポラ跡



東武佐野線レンガ造りの
トンネル

大正3年から整備が始まった東武佐野線には、道路や両毛線を跨ぐ橋にレンガが使用されており、現在も市内の各所にその姿をとどめています



御所ノ入の五輪の塔

市内には 100 基を超える五輪塔があり、そのほとんどが安山岩です。山形町の御所ノ入には、群馬県みどり市産と言われる凝灰岩でできた五輪塔が、山裾にひっそりと建っています



水塚のある風景

水塚とは、河川の増水や洪水に備えて屋敷全体、または屋敷内的一部を、周囲より高く築いた防水施設をいいます。この塹の上に物置（土蔵）を建て、水害時には家族の避難場所としました



日本キリスト教団佐野教会

設計は早稲田大学の大隈講堂や栃木県庁舎を手掛けた佐藤功一、建築は田口喜作と言われています。教会堂は国の登録文化財として保存されています



朝日森天満宮

地域の人から「天神さま」と呼ばれ親しまれています。境内には陽明学者中根東里撰文による「下毛野天明郷管神頂廟碑」があります



星宮神社

かつて天明宿の氏神で、社殿に至る石段の前には天明鑄物師たちが造った銅造の明神鳥居があります



船板塀の家

越名・馬門河岸も、1900 年代から交通運輸の手段が鉄道に変わり、急激に衰微しました。廃船になった船板は、旧回漕問屋や料亭などの板塀として活用されましたが、現在は 1 軒を残すのみとなっています



一本塚稻荷神社

唐沢城再興を期した佐野莊司讚岐守成俊公により、富士村の稻荷大明神を還して祀られたもの。本殿は朱塗りの権現造りで、境内の銅製鳥居は、国認定重要美術品です



願成寺

藤原秀郷公の開基と言われております、建長年間に佐野源左衛門常世は衰微した寺を再興し、宗門を臨濟宗となし、山号を梅秀山と号しました。常世は謡曲「鉢の木」で知られています



妙顯寺

鎌倉時代に創建と伝える日蓮宗の古刹。境内に彦根藩佐野陣屋にあった陣屋稻荷、大橋町で水車業を営んでいた檀徒の須永家の水神様が移築されました



龍江院

観音堂には、かつて觀音様と一緒に「カテキ様」が安置されていました。これは、1600 年豊後（大分県）の白杵に漂着したオランダ帆船リーフデ号の船尾を飾ったエラスムスの木像です



大庵寺

唐沢山城主佐野昌綱が家臣の津布久昌成の菩提を弔うために開きました。佐野氏の庇護となり、昌綱の肖像画が寄進されています



東光寺

山門（中門）は、廢藩置県後に、佐野藩佐野城藩邸（佐野城とも呼ばれる）の大手門を移築したもので。境内には市の天然記念物である、かやの木や広葉杉の巨木がそびえています

まちなみ景観

【住宅地の景観】

特　　性

- 市街地には低層の住宅が密集しており、かつてのたたずまいを残している家屋があります。
- 地区計画により、佐野新都市地区、田沼北地区ではゆとりと潤いのある新興住宅地が形成されています。
- 市街地周辺部には、工場と混在した住宅地が見られます。
- 戸建ての分譲地では、統一感のある意匠形態の住宅が並び、生垣等を設置しています。
- 佐野新都市地区では規模の大きい集合住宅が多く見られます。

検討課題

- 周辺の住宅地と調和するよう建築物の形態、意匠等の景観誘導を図る必要があります。
- 適切に管理されていない空家等が、草木の繁茂や建物の屋根材や外壁等の飛散等の悪影響を周囲に及ぼしている現状があります。こうした空家等は景観上も好ましくないことから、空家所有者等に対して適切な管理を促していく必要があります。

主な景観資源



佐野新都市地区の住宅地

佐野新都市地区の住宅地は、潤いのある街を形成するために、建物の色彩や壁面の位置、外構などに関する地区計画が定められています



戸建ての分譲住宅地

開発メーカーが分譲した住宅地は、建物の形態・意匠や外構部に統一感が見られます



大規模な集合住宅

規模の大きい集合住宅は、地域のまちなみ景観の形成に大きな影響を与えます

【商業地の景観】

特 性

- 中心市街地は、市役所、駅前交流プラザやまちなか活性化ビルが立地し、市民や来訪者の交流拠点となっています。また、空き店舗を活用した店舗が一部で見られ、商店街としての賑わいを見せつつあります。
- 田沼地域市街地は一瓶塚稻荷神社の門前町としてのまちなみを色濃く残しています。
- 葛生地域市街地は大通りが整備され、地場産業である石灰を用いたフレスコ画に彩られた建物がいくつか分布しています。
- 東西の産業道路をはじめ、主要な幹線道路にはロードサイド型の大型商業施設が建ち並び、自動車利用者の目に付きやすいような屋外広告物が掲出されています。
- 佐野新都市地区には、ショッピングセンターやアウトレットモール等の大型商業施設が立地しています。

検討課題

- 市街地では、まちなみ活性化を促進するため、回遊性を高める魅力と賑わいのある商業地景観の更なる創出が必要となります。
- 屋外広告物の面積、高さ、個数等が条例の基準を上回って無許可で掲出されているものがあり、まちなみの景観を阻害しています。
- 適切に管理されていない空家等が、草木の繁茂や建物の屋根材や外壁等の飛散等の悪影響を周囲に及ぼしている現状があります。こうした空家等は景観上も好ましくないことから、空家所有者等に対して適切な管理を促していく必要があります。

主な景観資源



佐野駅前通り

佐野駅南土地区画整理事業の一環として整備が進められてきた駅前通りは、電線が地中化されています。また、内務省令で設置された佐野町道路元標があります



田沼地区の一瓶塚稻荷神社周辺

田沼地区の中心部にある一瓶塚稻荷神社周辺は、門前町としての面影を強く残すまちなみを形成しています



葛生地区の大通り

葛生地区の中心部を南北に貫く県道葛生停車場線は、電線類地中化と歩道の整備が行われました。沿道には古くからの建物も建ち並び、風格ある景観を見せています



佐野新都市地区の大型商業施設

UR都市機構により進められた佐野新都市開発整備事業に伴い、イオンモール佐野新都市店等の大型商業施設が立地しています



幹線道路沿いの商業施設

自動車の通行量が多い幹線道路沿いには、ロードサイド型の商業施設が並び、大型駐車場を併設しています



中心市街地

中心市街地には、鋳物のお店などが点在し、かつてのたたずまいが感じられます

【 工業地の景観 】

特 性

- 昭和 40 年代の佐野工業団地の整備以降、羽田工業団地や田沼工業団地、佐野新都市の産業団地などが整備されてきました。
- 地区計画や建築協定により、周辺景観に配慮した良好な地区環境を形成しています。
- 市街地周辺部には単独立地する大規模な工場や流通施設が見られます。
- 北関東自動車道佐野田沼 IC の開通に合わせ、その利便性を活かして周辺・近郊に産業団地が整備されました。

検討課題

- 高い塀に覆われ閉塞感があり、敷地内や周辺の緑化が十分でない工場が見られます。
- 新規立地する工場は、地区計画や建築協定等により周辺景観に調和するよう誘導を図る必要があります。

主な景観資源



佐野みかも台産業団地

地区計画により良好な環境が形成され、市のごみ焼却施設「みかもクリーンセンター」には余熱利用施設も併設されています



佐野インター産業団地

旧越名沼を干拓した田園地帯越しに、みかも山を背景として、工場群が周囲と調和して建ち並んでいます



羽田工業団地

栃木県企業局により開発され、田園地帯のなかで、周囲に緩衝緑地を配置した緑豊かな工業団地となっています



佐野工業団地

首都圏整備委員会、日本住宅公団、栃木県及び地元関係者の協力を得て、造成しました



田沼工業団地

昭和 60 年代に開発され、大規模な工場や流通施設が立地しています



佐野 AWS 産業団地

北関東自動車道佐野田沼インター チェンジから北へ約 2 km に位置した豊かな自然に囲まれた産業団地です



佐野田沼インター産業団地

北関東自動車道佐野田沼インター チェンジから北へ約 1 km に位置し、産業団地内を国道 293 号が横断する交通利便性の高い産業団地です

【 道路・鉄道とその沿道の景観 】

特 性

- 市街地の骨格を形成する国道 50 号、東西の産業道路（県道佐野環状線及び県道佐野田沼線の一部）、佐野環状線、佐野駅前通りの沿道には様々な施設が立地し、市民の日常活動の軸を形成しています。
- 佐野駅前通りや佐野新都市幹線道路、葛生地域市街地では電線類が地中化され、開放感のある道路景観が形成されています。
- 住宅地や郊外を通る道路では、地域住民が周辺の草刈りやごみ拾い、花壇整備等を行い、道路景観の維持向上が図られています。
- JR 両毛線や東武佐野線を利用すると、車窓からまちなみや田園風景を見渡せます。

検討課題

- 国道や主要な幹線道路沿いでは、屋外広告物の乱立が目立ちます。
- 電柱が道路景観を阻害しているとともに、歩行者空間の安全性が確保されていません。
- 駅周辺では放置自転車、違法駐車、ごみの投げ捨て等が見受けられます。

主な景観資源



東武佐野線渡良瀬川周辺
車窓からは渡良瀬川や緑豊かな山並みの眺望が鉄道利用者を楽しめます



サザンクロス大橋
佐野新都市の玄関口のシンボルであり、社団法人全国建設技術協会の全建賞を受賞しました



佐野プレミアム・アウトレット
と一体となった市道
アウトレットの敷地をつなぐ市道は、施設管理事業者の負担で整備された歩行者専用道路となっています



国道 50 号沿道
新都市周辺の沿道は、多くの商業施設や業務施設が立地しており、藤岡方面に向かう車からは三毳山を望むことができます



国道 293 号沿道
車窓からは山の中腹に建つ出流原弁財天の朱色のお堂や中山間の山並みを眺望できます



高橋大橋
高橋町から足利市野田町を結ぶ渡良瀬川のアーチ型の大橋で、渡良瀬川の雄大な流れを望むことができます

【 公共施設等の景観 】

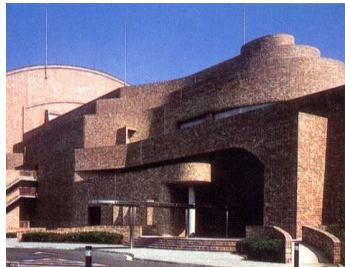
特 性

- 市役所庁舎、図書館、文化会館、集会施設、学校施設等の公共施設が各地に分布し、長年にわたり多くの市民に利用され、地域の景観の基調となっています。
- 公共目的の案内や誘導看板が市内に数多く設置されています。

検討課題

- 老朽化や耐震上に問題のある公共施設は、建て替えや修繕にあたり、周辺の景観に配慮した整備を図る必要があります。
- 公共目的の案内や誘導看板は、共通性のあるデザインに工夫する必要があります。

主な景観資源



佐野市文化会館

優れた文化芸術、文化創造の場として昭和 54 年 6 月に開館。レンガ造りが印象的で、上質な空間を醸し出しています。



佐野市立図書館

昭和 58 年 3 月オープン。外観はレンガタイルのモダンなつくりとなっています



どまんなかたぬま

道の駅「どまんなかたぬま」には地元で栽培された農産物や特産品を求める、連日多くの人が賑わっています



佐野市役所庁舎

平成 27 年 12 月に全面開庁した新庁舎は中心市街地の新たなランドマークとなっています



佐野駅前交流プラザ

ぱるぽーと

まちなかの市民交流の促進や観光客への情報発信の拠点として、平成 22 年 7 月 1 日に開設しました



こどもの国

市の「こどもの街宣言」に基づき、佐野高校農業科跡地に整備され、平成 12 年 3 月に完成しました



佐野市郷土博物館

本市を中心とする地域の考古・歴史・民俗等に関する資料を展示する歴史系博物館として、昭和 58 年 11 月に開館しました



葛生あくとプラザ

平成 10 年 4 月オープン。芸術や音楽関係の催し等、誰もが集える魅力ある文化施設です



みかもリフレッシュセンター

隣接するみかもクリーンセンターの余熱利用施設で、温水プールや展望風呂、トレーニングルームなどがあります。市中心部が見渡せる三毳山の北麓の高台にあります

【公園・緑地の景観】

特性

- 市街近郊に三毳山や唐沢山など、市内を一望できる大規模な公園が整備されています。
- 城山公園や嘉多山公園は、地域の遺産が公園として利用されています。
- 多くの街区公園が配置され、コミュニティ形成の場、レクリエーションの場、災害時の一時的な避難場所として利用されています。
- 公園、緑地の草木以外にも、季節を彩る草木が市内に分布し、四季を楽しむ景観となっています。

検討課題

- 快適に利用できるよう適切な維持管理と利用者のマナーが求められます。

主な景観資源



城山公園

佐野城（春日岡城）跡にあり、平成15年に佐野駅自由通路が開通し、駅南側の市街地と直結しました



佐野市運動公園

総面積32haの敷地には、様々な運動施設が緑に包まれた自然環境の中に配置されています



梅林公園

唐沢山の麓にあり、白梅140本、紅梅80本のほか、桜やツツジなど7,000本以上の花木があります



みかも山公園

県内最大の都市公園で、標高は約230m。カタクリ・アズマイチゲ・ニリンソウなどの山野草が自生し、花の百名山にも選定されています。写真はみかもハーブ園



嘉多山公園

葛生市街地の北の高台にあり、地域の主力産業である石灰採掘場だった場所を整備して造られました



唐澤山神社参道

唐沢山城本丸跡に鎮座する唐澤山神社。歴史を感じて頂くと共に、例年4月下旬～5月上旬にはツツジの群落が、11月中旬から下旬頃には紅葉を楽しむことができます

人文景観

【祭事・イベントの景観】

特　　性

- 長い間市民に親しまれ、四季の折々を彩る様々な伝統行事や祭りがあり、来訪者が多く集い、賑わいや交流の景観を創出しています。※P25「市内の主な祭りとイベント」参照
- レクリエーション施設や宿泊施設では、人々が楽しみ触れ合い、交流する景観を創出しています。

検討課題

- 伝統行事やイベントで、後継者不足により継続的な開催が難しいものがあります。
- 伝統行事やイベントの積極的な情報発信により、市民や来訪者の参加による賑わいの創出が望まれます。

主な景観資源



さの秀郷まつり

佐野の礎を築いた藤原秀郷の名を冠した祭。佐野市民の多くが祭りに参加、市民のふるさとに対する意識の高揚と郷土愛を育んでいます



一瓶塚稲荷神社初午祭

毎年旧暦2月の初午近くに行われ、群馬、埼玉、東京方面からの参詣者や数万の人で賑わい、しんこまんじゅうと植木市は名物となっています



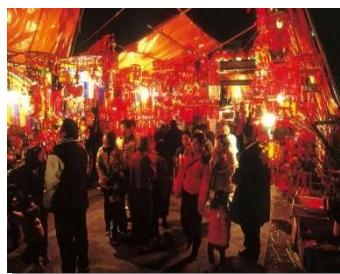
くずうフェスタ

日頃よりご支援ご協力をいただいている地域住民への感謝を込めて、毎年5月に開催されます。福引大会や大道芸などのイベントが行われ、夜には恒例の花火大会が行われて、ひと足早い夏気分を満喫させてくれます



浅間の火祭り

無病息災、五穀豊穣を祈願し、その年に獲れた小麦わらに火をともす「点火の儀」が行われます。そして手に持った松明にその火をもらい山を下ります。山頂までの参道は、火の橋のごとく暗闇に浮き出て、その美しさを醸し出します



西宮神社恵比寿講

商人の商売繁盛、家内安全を祈願し、毎年11月に開催されます。お宝市が軒を並べ、福引きやのど自慢、露店など深夜まで賑わいます



くずう原人まつり

毎年9月頃に、嘉多山公園で開催されます。多彩なステージや郷土芸能等で盛り上がり、和太鼓の競演でフィナーレを迎えます



浦安の舞

根古屋神社の秋の例祭では、神楽「浦安の舞」が奉納され、唐沢山を背景に、格調高い竜笛、太鼓の伴奏で端麗に歌い舞い踊ります



牧歌舞伎

歌舞伎役者、3代目関三十郎が地方巡業の際、地元の若者に教えたのが始まりとされています。栃木県民俗無形文化財に指定されています



飛駒祇園祭

毎年7月に行われる飛駒町八坂神社の祭りです。神輿や天狗、鉾などの行列とともに、飾り付けられた屋台が山里の道を曳かれていきます



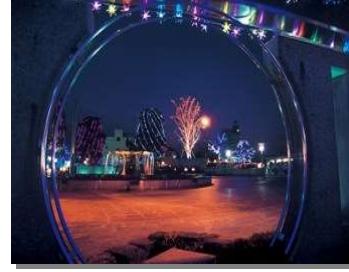
佐野市そばまつり

毎年10月に2日間にわたり田沼グリーンスポーツセンターで開催されます。そば生産の盛んな中山間地域の活性化を図るため、また、新そばシーズン前の農村レストランの誘客活動として、むらづくり団体等によるそばや農産物の販売が行われます



マルシェ

毎月第3土曜日に佐野駅前交流プラザばるぱーとにてマルシェ（市場）を開催。野菜や花、雑貨、手作り品などの出店があります



FANTASTIC ILLUMINATION in SANO

毎年11月下旬から、佐野駅前交流プラザ、駅前交流広場、噴水広場、佐野駅前通りにはイルミネーションが点灯し、まちなかの夜を彩ります

【暮らしの景観】

特 性

- 地域の良好な景観づくりに関わる活動団体があります。※「地域の景観づくりに関わる活動団体」参照
- 受け継がれる伝統ある特産品や工芸品があります。※「主な特産品と伝統工芸品」参照

検討課題

- 繼続的な活動を可能とする担い手の確保や活動団体同士の情報共有の場が必要です。
- 特産品や伝統工芸品への関心を高め、親しみを持っていくことが望されます。

主な景観資源



サルビア街道の取り組み

飛駒地区住民の自主的な活動により始まり、県道飛駒・足利線では、夏から秋にかけてサルビアの花が咲き、道行く人の目を楽しませています



あかみ浅間の里の取り組み

赤見町の市の沢にあり、住民の手により、荒れゆく里山を復活させました。里山の斜面にはボタンをはじめ、多くの花木が植えられています



特産品のなし狩りの風景

上羽田地区で梨が栽培され始めたのは、江戸時代に梨を好んだ殿様に献上するために栽培を始めたと言われています



いちご狩り

栃木県を代表する特産品「とちおとめ」や「スカイベリー」は佐野市でも盛んに栽培されています。スカイベリーの生産量は県内1位です。糖度たっぷりの摘みたていちごを、たくさん食べてください



天明鑄物

1千年以上昔から本市で受け継がれている金属製品。神社の鳥居、梵鐘、仏像などが作られていました。現在、伝統を受け継いだ鑄物師たちが様々な作品を作っています



野外レクリエーションの風景

豊かな自然を活かした野外レクリエーション施設が数多くあり、家族連れて休日を楽しむ風景が見られます



上仙波の彼岸花の植栽

上仙波地区には、地域住民の手により彼岸花がそば畑近くに植栽され、そばの花が咲く季節には赤と白の花のコントラストが楽しめます



飛駒和紙の紙すき

飛駒産の生紙は、色は少々黒く丈夫で長持ちと評判で「飛駒八寸」と呼ばれ、障子紙や大福帳に愛用されてきました。根古屋森林公园内の飛駒和紙会館では、紙すき体験ができます

市内の主な祭りとイベント

	祭り・イベント名	開催場所
1月	唐沢山初詣	唐沢山神社
	佐野厄よけ大師大祭	佐野厄よけ大師
2月	さのまるの日イベント	
3月	一瓶塚稻荷神社初午祭	一瓶塚稻荷神社
	佐野スプリングフラワーフェスティバル	万葉自然公園かたくりの里
4月	唐澤山神社春季大祭	唐澤山神社
5月	権現大祭	佐野厄よけ大師
	くずうフェスタ（花火大会）	葛生あくとプラザ
6月	ハーブフェスタ	みかも山公園西ハーブ園
7月	八坂神社夏祭り	八坂神社
	浅間の火祭り	浅間神社
	佐野夏まつり	星宮神社ほか
8月	たぬまふるさと祭り	田沼行政センター
	さの秀郷まつり	佐野駅周辺
	み魂まつり	秋山川河畔
9月	くずう原人まつり	嘉多山公園
	子育呑龍上人大祭	宝龍寺
10月	佐野市そばまつり	田沼グリーンスポーツセンター
	佐野市民大茶会	城山公園
	唐澤山神社秋季例祭	唐澤山神社
11月	どまんなかフェスタ佐野	田沼グリーンスポーツセンター
	関東菊花競技大会	佐野厄よけ大師
	西宮神社恵比寿講	西宮神社
	新そばまつり	各農村レストラン
	農業まつり	アグリタウン
12月	鷦宮神社お酉様	鷦宮神社

地域の景観づくりに関わる活動団体

団 体	活 動 内 容
違反広告物除却 ボランティア団体	道路上等に無秩序に設置されている簡易な違反広告物（はり紙、はり札等、広告旗、立看板等）を除却し、良好な景観又は風致の維持等を図っています。（しののめクリーン隊）
むらづくり推進協議会	中山間地域の活性化のため、各地域で活動するむらづくり団体が地域のお祭り・イベント等の事業を実施しています。
緑化ボランティア 団 体 等	花の植栽などによる里山の環境・景観づくりや、バスターミナルの花壇への花の植栽・維持管理等の活動を行っています。 あかみ浅間の里、野上地区社協、梅園町会、えんの溜ふれあいの里づくり協議会、緑化クラブばなばな等
いそやま友の会	月1回の弁天池清掃活動や、地域活性化のための活動等
菊沢川の清流と コウホネを守る会	菊沢川の清掃 菊沢川に生育する「ナガレコウホネ」の保全 ※2009年環境省水・土壤環境保全活動功労者表彰受賞 ※2013年田中正造記念賞 佐野市長賞受賞
佐野高校科学部	2009年の創部以来、市の天然記念物に指定されているトウキョウサンショウウオの生息状況調査を行っており、2021年度は、宇都宮大学との連携・指導の下、生息数が減少傾向にあるトウキョウサンショウウオの保全方法について研究を行いました。 ※第65回日本学生科学賞栃木県展覧会優秀賞 ※第3回自然科学部会研究発表会最優秀賞
上牧の環境を守る会 ほか20組織	農業者だけでなく非農業者も協力し、農地、水路、地域の生態系、美しい景観などの地域資源の保全及び向上のための活動（草刈り、水路の泥上げ、植栽等）を行い、農業・農村が持つ「多面的機能」の維持・発揮を図っています。
梅園町新耕地集落 ほか2団体	中山間地域における農業生産条件の悪さ、高齢化等による担い手不足による耕作放棄地の拡大を防ぎ農業生産活動の継続を通じ、農業・農村のもつ多面的機能の維持・発揮を図っています。

主な特産品と伝統工芸品

特 産 品	佐野らーめん	いもフライ	しんこまんじゅう
			
	大根そば	梨・桃・いちご	耳うどん
			
	名水豆腐	かき菜	佐野黒から揚げ
			
わさび、しいたけ、お漬け物、地酒等			
伝 統 工 芸 品	天明鋳物	佐野衣装着雛	飛駒和紙
			
	佐野節句かけ軸	佐野の生人形	栃木鬼瓦
			
佐野武者絵のぼり、佐野土鈴・土笛			